

## 第4回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護  
 □地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護  
 □地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和7年11月19日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者： 8名

駐在所巡查長	0人	知見を有する者	1人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	0人
事業所職員（職名：管理者、GH主任、小規模リーダー）			3人

### 1. 報告事項：登録実績と利用状況（R7.10月現在）

現在入居者数		18名	新規入居者数		9月	0名
内 訳	男 性	4名	退居者数		10月	0名
	女 性	14名			9月	0名
	計	18名	10月	0名		

※最少年齢 82歳 最高年齢 100歳 平均年齢歳 91.3歳（10月現在）

9月、10月 新規利用者、終了者なし

令和7年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0						
	0	0	0	0	0	0	0						
要介護1	9	7	7	7	7	7	7						
	270	188	207	214	214	210	217						
要介護2	7	7	7	8	7	7	7						
	198	217	195	199	217	196	216						
要介護3	1	1	2	2	2	2	2						
	30	31	60	62	62	60	62						
要介護4	1	1	1	1	1	1	1						
	30	31	30	31	31	30	31						
要介護5	0	1	1	1	1	1	1						
	0	31	30	31	31	30	31						
計	18	18	18	19	18	18	18						
	528/540	529/558	522/540	537/558	555/558	526/540	557/558	/540	/558	/558	/522	/558	
入院	12	4	15	9	3	15	1						

空室	0	29	3	12	1	0	0						
入居率	100%	95.5%	99.4%	97.8%	100%	100%	100%						
稼働率	97.8%	94.8%	96.6%	96.3%	99.46	97.4%	99.8%						

地域別利用状況 (R7.10 現在)

波根	久手	水上	長久	大田	川合	大屋	大森	鳥井	静間	温泉津	富山
4人	1人	1人	4人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	1人

3、活動状況報告 \*以下はスライドをみながら説明

- ・9/16 (火) 敬老会
- ・夏休み明け9月から朝波小学校児童の下校時見守り活動を再開

① 運営推進会議検討項目

(No.35: 役割、楽しみごとの支援)

【評価基準】張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている

→ご利用者の今までの生活習慣(刺し子、日課の散歩や掃除、図書館での本のレンタルなど)を施設生活に取り入れて個別の対応へシフトしている状況。食事作りでは野菜の皮むきや、切る、炒めるなど工程別に出来るところだけでも参加してもらえるようにしている。

Q:生活習慣を取り込む支援を行った結果、習慣化する方はいるのか。

A:週や月単位で行う活動は職員からの声掛けやお膳立てを行う必要があるが、日課となっている散歩や好きな活動、交流は習慣化して当人たちで行われている

(No.48: 本人が持つ力の活用)

【評価基準】本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わり交流することができている

→通いの場、近隣店舗への買い物、家族と外出(外食)外泊を行っている

波根以外の入居者も多いので、自分の地域へ出かける機会を増やしていきたい

② 外部評価関連

※No.12 職員を育てる取り組み

【評価基準】代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めているか

- ・9/10 (水) ヘルスアップ事業 お口の健康講座 1名参加
- ・9/22 (月) ~10/20 (月) 身体拘束廃止研修「不適切なケアについて」全職員対象
- ・8/25 (火) ~9/26 (金) リスクマネジメント研修 全職員対象
- ・10/16 (木) 看取り研修 2名参加

Q:新人職員が入職した際に、先輩職員が指導を行うシステムはあるのか

A:プリセプターシップ制度があり、1年間の指導計画を基に指導している

Q:職員も忙しい中での研修参加なので皆で集まるのも難しいと思われるが、職場内で研修の振り返りや共有をどのようにしているのか 働き方改革に逆行していることは無いのか

A:専門研修では、毎月認知症チームケア会議を開催することで専門性のあるケアの底上げに繋げている 個人の研修ではそれぞれのキャリアに応じた仕事の内容や責任の範囲について理解し成長促進を目的としているが、発信が乏しく法人全体として課題と感じている 法定研修など全職員対象の研修は一堂に集まる時間もない為、動画視聴にシフトして効率化を図っている

※No.25 防災対策

【評価基準】

火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている

→非常口を色分けして掲示し、非常口までの動線に蓄光テープを廊下の壁に貼って利用者が自主的に避難できるように工夫した

- ・垂直避難が落ち着いて行えるように各フロアに海拔表示を掲示した
- ・11/19（水）日中避難訓練予定

4、その他

特になし

次回開催日：令和8年1月21日（水曜日）9：30～10：30